

第5学年1組外国語科学習指導案

日 時：令和4年11月8日（火）5校時
場 所：5年1組教室
児童数：男子14名女子12名計26名
指導者 HRT： 入江 智絵
ALT： Christina Higgins

1 単元名 Unit4 He can bake bread well.

2 単元の見込み

- 自分や第三者のできることなどについて、短い話を聞いてその概要がわかったり、伝え合ったり、話したりしている。 (知識及び技能)
- お互いをよく知るために、できること、できないことについて、自分の考えや気持ちを聞いたり、話したり、伝え合ったりしている。 (思考力・判断力・表現力等)
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

○ 教材観

本単元は、地域に住む身近な人を題材とし、働く人々から世界と日本の文化に対する理解を深め、その人のできること・できないことなどについて、尋ねたり答えたりする表現ができるようにする単元である。地域の身近な人に目を向けて学習することで、題材を自分事としてとらえやすく、目的と相手意識をもちながら、意欲的にコミュニケーションを図ることができる価値ある単元である。また、これまでの学習で、夢の時間割を紹介し合う学習を行ってきたことから、これまで学習してきたことを生かし、本単元の「身近な人」という自分自身の身近な生活においても、地域とのつながりや、世界と日本の文化の相違を実感しながら学ぶことのできる構成となっている。

○ 児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。(単位：人)

	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない
①外国語の学習は好きですか。	1 3	1 2	1	0
②外国語を話すことは得意ですか。	6	1 0	1 0	0
③外国語は大切だと思いますか。	2 1	3	2	0

本学級の児童は、外国語の学習に対して、「好きであるが、得意ではない」という回答をした児童が多いことが分かる。英語を聞き取る活動や会話をする活動で、正確に聞き取ったり話したりすることができないので、「得意ではない。」と感じている児童が多い。

一方で、自分の伝えたいことを何とかして伝えようと、単語を考えたり、既習の単語を使って伝えようとしたりする姿が見られ、根気強く学ぼうとしている様子を感じる。

以上のことから、本単元の学習では、既習の英語表現や新出の英語表現に慣れ親しみながら、何とかして自分の思いや考えを友達やALTに伝えることができたという喜びを感じることで学習にしていきたい。

○ 指導観

指導にあたっては、まず他己紹介の3ヒントクイズを既習の英語表現や日本語ですることから、ALTにもわかるように、他己紹介をしたいという意欲を持たせ、「自分の周りの素敵な人をクリスティーナ先生や友達に紹介しよう！」という単元のゴールを示し、児童に見通しを持たせるとともに、児童の目的意識、相手意識を高める。

次に、ALT やデジタル教科書の発音を聞きながら、必要な表現や語彙に十分に慣れ親しみ、各種ゲームを通して、必要な表現や語彙を児童が自信を持って発言できるようにする。「She」や「He」の表現に慣れ親しむため、児童がよく知っているキャラクターや人物を取り上げ、使い方に慣れさせる活動を取り入れる。

そして、第5時では、相手に伝わりやすい他己紹介をするための準備を行う。ここでは、児童の「より分かりやすく伝えるためには」という思考を働かせ、この目的を果たすために、準備の内容や手段は問わないようにする。児童自身が考える「より分かりやすく、相手に伝える」方法で自分らしい表現ができるようにしていく。

本時では、自分が紹介したい自分の周りの素敵な人を友達に紹介することを Main Activity とし、話すときや聞かときのポイントを示しながら、目的や状況に応じて自分なりに表現できるようにしていく。

単元終末では、世界の町で働く人々などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めることができるようにしていく。

また、単元を通して、テーマを明確にした Small talk を繰り返し行いながら、既習事項を用いたり、想像して単語を探したりする中で、自分の伝えたいことを何とかして伝えようとする資質や能力、意欲を高めたい。さらに、全員の前で発言する場面を増やし、自分の考えを英語で伝えることができたという自信を持たせられるようにしていきたい。そうすることで、児童の実態や課題に応じた、本校高学年の研究テーマに迫る学習ができると確信する。

【言語活動の設定】

(目的)・・・友達や ALT に自分の周りにはいる素敵な人を知ってもらうために

(場面)・・・友達や ALT に自分の周りにはいる素敵な人の職業やできることを紹介するという場面を設定することで

(状況)・・・よりわかりやすく伝え合おうとする相手意識や目的意識をもつことができ

自分の思いを生き生きと伝え合う児童の育成につながると考える。

4. 取り扱う言語材料

【表現】 Can you～? Yes, I can. No, I can't. I/You/He/She can/can't. Who is this? This is～. He/She is ～.

【語彙】 動作(skate など)、建物(stadium など)、楽器(guitar など)、家族(father など)、人(friend など)

5. 単元計画 (全8時間. 本時: 6/8時間)

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 ・ 2	地域に住む身近な人のできることなどについてのやり取りのおおよその内容を理解する。	◎		
3 ・ 4	あなたや身近な人のできること・できないことについて紹介し合う。	◎	○	
5 ・ 6	「身近な人紹介カード」を作って、ショー・アンド・テルをする。【本時】		◎	
7 ・ 8	世界の町で働く人々などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。		○	◎

単元のゴール・・・知ってもらいたい！自分の周りの素敵な人をクリスティーナ先生や友達に紹介しよう！

6. 本時の学習

(1) 目標

- 「身近な人紹介カード」をもとに、身近な人の職業やできることを伝え合う。

【思考・判断・表現】

(2) 授業の視点

視点①・・・言いたくなる英語を目指したゲームを取り入れることで、自信を持って、友達に英語で伝えたいことを伝えることができたか検証する。

視点②・・・友達やALTに自分の周りの素敵な人を紹介するという場面を設定し、自分の周りの人の職業や得意なことを伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションをとることができたか検証する。

(3) 展開

過程 時間	児童の活動	教師のかかわり・指導上の留意点		備考
	学習活動	HRT	ALT	
Warm up ⑩	1 Greeting ○あいさつをする。 気分、天気、曜日、日付などを答える。	○楽しくあいさつができるよう心掛け、一緒にあいさつをする。	○児童とあいさつを交わし、気分、天気、曜日、日付を尋ねる。	PC
	2 Let' s chant ○「Can you swim fast?」を歌う。	○児童がリズムよく歌えるように、はっきりと大きな声と一緒に歌う。	○児童が意欲的に活動できるよう励ましながら、一緒に発音する。	
	3 Small talk ○「Can she sing well?」というテーマでALTやHRTと話す。	○ALTとSmall talkをするところを児童に見せることで、児童が自信を持って話すことができるようにする。	○HRTとSmall talkをするところを児童に見せることで、児童が自信を持って話すことができるようにする。	
	4 Today' s goal ○本時の課題をつかむ。	○単元のゴールを確認し、本時の課題を児童につかませる。		
Main act 1 ⑩	Today' s goal 「自分の周りの素敵な人」を友達に伝わりやすいように工夫して、紹介しよう。			
	5 Activity① ○「Can can リレーゲーム」をする。	○ALTとともにデモンストレーションを行い、児童に見通しを持たせる。	○HRTとともにデモンストレーションを行い、児童に見通しを持たせる。 ○児童の発言にリアクションをすることで、児童の発言したい意欲を出すことができるようにする。	視点①

Main act 2 ⑮	6 Activity② ○デモンストレーションを聞き、見通しを持つ。 ○グループになり、自分の周りの素敵な人を紹介する。 ○代表で、何人かクリスティーナ先生に紹介する。	○ALTとともにデモンストレーションを行い、児童に見通しを持たせる。 ○デモンストレーションを通して、発表する時や聞く時のポイントを伝える。 ○活動中は、机間指導で助言する。	○デモンストレーションを通して、発表のポイントがより伝わるように、強調して発言する。 ○活動中は、机間指導で助言する。 ○児童の頑張りを賞賛する。	視点② <u>評価</u> PC 紹介カード
	<p>Hello. This is 名前. She/He is 自分との関係性. She/He is 職業. She/He can ～. Thank you for listening.</p>			
Point…発表者：clear voice gesture eye contact 聞き手：reaction				
／ Looking back ⑩	7 Looking back ○本時の学習のふり返りをする。	○本時の頑張りを賞賛し、児童のふり返りシートの記入を促す。	○児童のふり返りを賞賛する。	振り返りシート <u>評価</u>
	8 Good-bye ○終わりのあいさつをする。	○次時の活動を伝え、本時の授業の終わりを伝える。	○一緒にあいさつをする。	

(4) 評価

- グループの友達に自分の周りの素敵な人のことを紹介するという場面を設定し、自分の周りの人の職業やできることを伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションをとることができたかを、行動観察・振り返りシートで評価する。

【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

Our Goal:自分の周りの素敵な人をクリスティーナ先生や友達に紹介しよう!

Today's goal:
「自分の周りの素敵な人」を友達に伝わりやすいように工夫して、紹介しよう。

相手に伝わりやすいように

Hello.

Thank you for listening.

Point card

7. 授業考察

(1) 授業の視点

- 視点①・・・言いたくなる英語を目指したゲームを取り入れることで、自信を持って、友達に英語で伝えたいことを伝えることができたか検証する。
- 視点②・・・友達やALTに自分の周りの素敵な人を紹介するという場面を設定し、自分の周りの人の職業や得意なことを伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションをとることができたか検証する。

(2) 授業研究より

- 児童の発音の間違いを否定しすぎない、リキャストで正しい発音を伝えていく方法が効果的だった。
- 「自分の周りの素敵な人を紹介しよう」というゴールを設定したことで、児童の意欲が高まった。
- can can リレーゲームでは、相手に伝える、相手の言葉を聞いて繰り返すという活動が入っており、児童は「友達に伝えられた！」という達成感を感じることができた。
- タブレットのスライドを使って素敵な人を紹介したことで、英語が難しくても、指差しやジェスチャーで伝えることができた。
- リアクションのバリエーションを提示したことで、リアクションが増えた。
- △ ALTの活躍が少なかった。最後に児童への称賛をしてもらったり、ALTに紹介に行くよう、児童に声をかけたりする必要があった。
- △ 紹介する内容を誰も知らないような内容にすることで、自然とリアクションが出てくるのではないか。

(3) 今後の課題

- ALTの有効的な活躍を図る。
- 言語活動において、ゴールが「発表する」という学習をする際に、練習のしすぎになっていないか、検討し、より思考が働く学習を考えていく。
- Chantsでもダンスのようにリズムに乗って歌うことで、ジェスチャーへの抵抗がなくなるのではないか。